

## 薬剤師への興味、さらに 大分大病院薬剤部 高校生140人が見学



目薬の使い方の説明を受ける高校生。大分大大学院

高校生を対象にした薬剤師の仕事や創薬の役割を学ぶ見学会が、由布市挾間町の大分大大学院薬剤部であり、県内15校から約140人が参加した。

薬剤部の伊東弘樹教授から薬学部の実験の仕方や卒業後の進路などについて講義を受けた。実際に病院内

の調剤室や服薬指導室などを訪れ、薬の服用の指導の仕方や薬を調合する現場を見学した。

中津北高校2年の富田欧介さん(16)は「患者に寄り添って病気を治す薬剤師に興味があり応募した。説明を受けてさらに興味が大きくなった」と話した。